

『新製品開発を問題なく進めたい!』

と考えられているみなさまへ

新規製品のリスク事前把握

効果的なデザインレビューの実施

品質問題の確実な再発防止

新製品開発ステップ

品質問題の未然防止

スムーズな量産立上げ

『FMEA/FTA』
が有効です

FMEA (故障モード影響解析)

Failure Mode and Effect Analysis の略称
システムを構成する部品・要素などの故障がシステム全体にどのような影響を及ぼすかを洗い出し、致命度の大きい故障モードを未然に除去するための信頼性評価法

FTA (故障の木解析)

Fault Tree Analysis の略称
好ましくない事象(トップ事象)からその原因を逐次下位レベルに展開して、トップ事象とその原因との関係を、定性的、定量的に把握するために用いられる解析手法



品質マネジメントシステム(ISO9000 / TS16949)の運用や顧客要請により開発ステップにFMEAを制度化している企業が増えている

ところが...

形骸化したDR

体裁だけのFMEA

増え続ける設計書類

掘り下げの甘い分析

漏れが多いリスク抽出



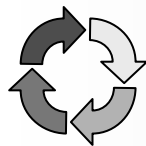
アイテックインターナショナルが提供する

FMEA / FTAプログラムの特長



『成果出し』を第一の目的

手法やシステム・仕組みを導入することが目的となってしまうがちです。貴社のお困り事が解決され、成果を出していただくことを第一の目的としてサポートさせていただきます。



実業務展開を基本

技術課題を明確にするためのQFDとの連携や、効果的なデザインレビューにつなげたり(DRBFM), 情報共有のための職場環境整備に貢献するなど、実業務上の展開を大前提としてコーチングさせていただきます。



実務経験豊富なコンサルタント

アイテックインターナショナルのコンサルタントは実務経験豊富な企業出身者ばかりです。いわゆる教科書にあるような一方的なコーチングはいたしません。

プログラム例

狙い: 設計技術者の信頼性作り込み能力の向上

基礎知識習得のための

セミナー

1日目	1. 製品開発とFMEA / FTA ・開発ステップ ・品質保証 ・品質機能展開
2日目	2. FMEAとFTAとは ・特徴, 比較 ・活用方法 3. FTA演習 4. FMEA演習 5. まとめ(DRの進め方)

実践力強化のための

コーチング

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
テーマ検討						
顧客要求把握						
信頼性ブロック図						
FMEA実施 ・故障モード抽出 ・影響度把握						
対策立案 / 実施						
効果確認 / まとめ						

DRBFM (Design Review Based on Failure Mode) やトヨタ式未然防止手法GD³などのFMEA / FTAをベースにしたプログラムも用意しております。

貴社のご要望, 状況に応じてプログラムを立案いたします。

ITEQ International

Institute of Technology, Engineering and Quality

有限会社アイテックインターナショナル

〒462-0844 名古屋市北区清水3丁目8番5号

URL <http://www.iteq.co.jp/> TEL:052-917-0711 FAX:052-917-0712